緑の相談所だより

-第３２号-

12，3月号　１９９５．１．３１　発行　編集：旭川市緑の相談所

講習会のご案内

洋ラン・春の管理
（シンビジューム，ファレノプシス他）

日時　２月１２日(日)　午後１～３時
講師　旭川市緑の相談所相談員
村　田　正　一
定員　５０名　　参加料　無料

ウメ・アザレアの花後管理
（花後の切りつめ方）

日時　２月２６日（日）午後１～３時
講師　旭川市緑の相談所相談員
小　島　博　昭
定員　６０名　　参加料　無料

草花，野菜などの種まきと苗育て

日時　３月１２日(日)　午後１～３時
講師　旭川市緑の相談所相談員
村　田　正　一
定員　５０名　　参加料　無料

庭木類春の庭整理
雪による障害木のなおし方
春の薬剤による防除

日時　３月２６日（日）午後１～３時
講師　旭川市緑の相談所相談員
小　島　博　昭
定員　６０名　　参加料　無料

※お申し込み・お問い合わせ
旭川市緑の相談所　６５－５５５３

知っておきたい学名の話
（西脇著「花を巡る事典366日」より抜粋）

植物についている名前は国によっても違います。たとえばわが国でセツブンソウと呼ばれているものが，イギリスでは「冬のトリカブト」，ドイツでは「冬の星」。またキンギョソウはアメリカでは「ドラゴンの口」，フランスでは「小牛の鼻」といった具合です。

そこでつくり出されたのが植物分類体系であり学名です。分類として平素出会うのは科名，属名，種名で，学名としてラテン語で表記されるのは属名と種名です。キンセンカを例にとるとCalendula officinalisです。最初の部分は属名でいくつかの似かよったグループで，次が種名でその植物に特徴になる形容詞がつけられていることが多いのです。

園芸相談　Q&A

問　シンビジュームを来年も咲かせたいと思います。春先とりあえずどのようにしたらよいでしょうか。

答　シンビジュームは春先に出た新芽を秋までに十分に太らせ，充実させなければ花芽がつきません。新芽をできるだけ早く出して育てることが大事です。そのためにつぎのことに注意してください。

1．花がついている間は新芽が出ません。花茎をなるべく早めに元から切り取ってください。花は花瓶に挿して眺めましょう。

2．鉢は温かくてガラス越しの日光によく当たる所に置きます。水は鉢の表面が乾いたら底から流れ出るくらいたっぷり与えます。肥料はまだ与えません。

3．やがて株元から新芽が伸びだしてきますが，1個のバルブ（株元の丸くなった部分）から新芽が2本出ることがあります。親1個に新芽1本になるように余分な芽を欠き取ってください。鉢全体で新芽は3本まで残します。新芽を立てすぎると太りが悪く花芽がつきません。

4．新芽が伸びはじめたら肥料を与えます。週1回千倍の液肥と月1回親指大の油粕，骨粉の玉肥を5～6個置き肥します。置き肥は4，5，6，7月と毎月新しいものと取り替えてください。

5．株が鉢いっぱいになっているものは，1～2回り大きな鉢に入れ換える必要があります。3月中に遅くても4月には行います。根が傷んでいなければ土をくずさずに行います。

株が増えすぎているものは株分けします。分けやすい所を包丁でバサリと切りわけますが，バルブは1株3個以上つけてください。

鉢は大きすぎないこと，株は新芽のある側を広めにあけます。用土は園芸店でシンビ用を求めるといいでしょう。用土はしっかりと突き込ことが大事です。

問　お正月にシクラメンの鉢を求め，居間に置いています。葉がだらしなくなって少し弱ってきました。どんなことに気をつけるといいでしょう。

シクラメンはやや低温と日光を好みます。昼間でも15度前後，夜間は10度前後くらいの温度がよいのです。居間では温度が高すぎて葉がだらしなくなったり，花あがりが悪くなったりします。　ガラス越しの日光にもよく当たる所に置いてください。

シクラメンのようにつぎつぎと新しい花を立てるものには肥料も必要です。千倍くらいに薄めた液肥を7～10日に1回ずつ施してやります。粒の置き肥も3個くらい置くといいでしょう。

水は，鉢の土が乾いて葉がしおれかけたら底から流れ出るくらいたっぷり与えます。

種をつけると養分がとられて弱りますから，花がしおれ始めたら花茎をつまんでねじるようにしながら引き抜いておきます。

黄色みを帯びた葉は病気の元になりますから，そのつど引き抜いておきましょう。

このようなことに気をつけていると，いい鉢なら4月いっぱいくらいは咲き続けます。

弱って葉が少なくなった株は，最初に述べた温度に気をつけ，肥料も中止して様子をみてください。

球根の頭をぬらすと病気が出て芽が腐ります。水やりのとき鉢の回りにやるように注意しましょう。

病気が出やすいので，ときどき殺菌剤を球根の頭と葉のうらにかけて防ぐといいでしょう。

5月，霜のおそれがなくなったら外に出し，葉のしげりぐあいをみて水と薄い液肥を与えておきます。

2月の園芸作業

2月上旬，中旬は厳しい寒さが続きます。この時期，特に気をつけることを述べます。

1．温度

・うっかりして凍らせることがありますから，夕方の気温や天気予報に気をつけて置き場所を移動してください。

出窓も夜カーテンを引くと低温になります。鉢はカーテンの内側に移動してください。

・低温に弱い種類は，鉢土が乾いていると低温に耐えるものです。最低温度が15度以下になるような場合，水やりに気をつけましょう。

・逆に，断熱のよい温かい住宅では，用土が乾いたらすぐ十分に水やりします。

2．湿度

寒い時期は室内の空気が乾きます。湿度不足のために弱ったり，葉の縁が枯れたりするこがあります。植物の快適湿度は60～70％くらいですが，せめて50％は保つようにしてください。なるべく湿度計をそなえましょう。

湿気を補うために霧吹きで霧水を葉，枝，幹に1日に何回かかけてやるといいでしょう

3．肥料

新芽や新しい葉が伸びているものには，薄めの液肥を1週間～10日ごとに施してやります。

シクラメン，プリムラ，ベゴニヤなどつぎつぎと花を咲かせるものにも，体力をつけるために肥料を施します。

生長が止まっているもの低温の所に置いてあるものには与えてはいけません。

4．日照

2月に入ると日差しがぐっと明るくなります。強光線に弱いものを除き，できるだけガラス越しの日光に当ててやると元気を回復してきます。

ただし，クンシランなどいきなり強光線に当てると日焼けするものがありますから注意してください。

3月の園芸作業

3月ともなると日差しの明るさ，日の長さを増し，暖かさも加わって春の訪れを感じます。

1年間の園芸作業の始まりです。それぞれの時期に合った作業を計画的に進めましょう。

1．洋らん

シンビジューム，カトレヤ，デンドロビュームなど新芽の生長が目立つ株があります。

ガラス越しの日光によく当て，根がしっかり伸びだしていたら薄めの液肥をたびたび施して，生長を促してやります。

株が鉢いっぱいになっていたら，根が伸びすぎないうちに植え替えしてやりましょう。

植え替えした鉢は少なくても3週間は肥料をやりません。

2．種まき

草花や野菜の種まきをしましょう。ペチュニヤ，サルビヤ，マリーゴールドなどの花壇用草花や，トマト，キュウリ，ナスなどの野菜の種まきを温かい室内で行います。

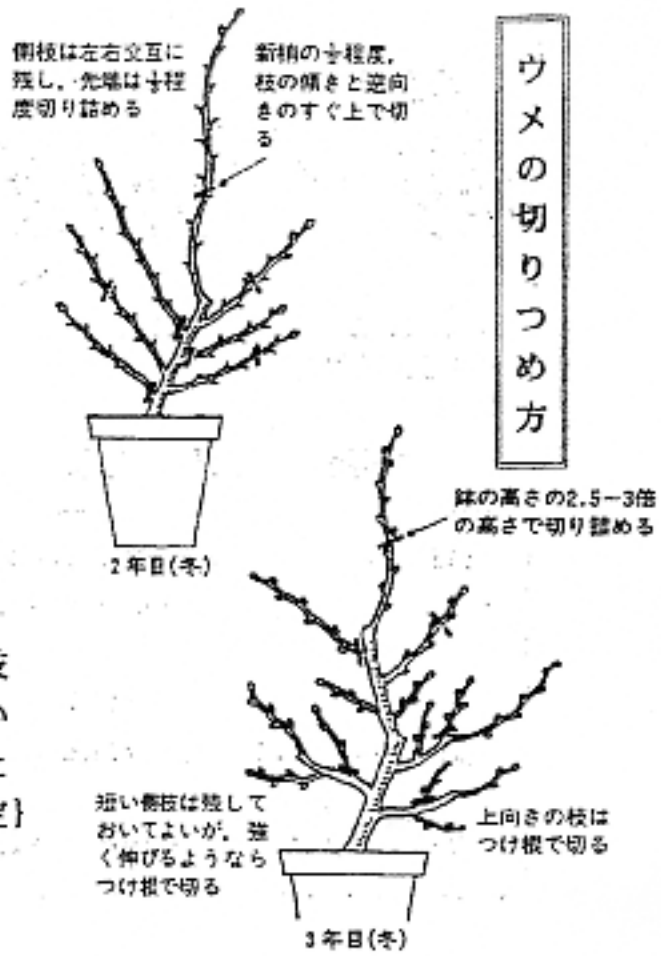
種まきには園芸店でピートバンを求めてまくと手軽で安全です。発芽するまで乾かさないこと，温度に注意してください。本葉が3～4枚になったらビニールポットに上げたり，株間を広げて植え替えます。苗は日光不足だとモヤシ気味になりますから気をつけましょう。カリ分の多い，薄めの液肥も施して生長を助けます。

3．草花の球根植え

グロキシニヤ，カラー，カラジューム，球根ベゴニヤ，ロードヒポキシス（アッツザクラ）など新しい用土で鉢に植えます。鉢は最初大き過ぎないことです。根がまわったら少し大きい鉢に入替えます。お正月前後に求めたアマリリスは，花が終わったら鉢から抜いて用土を落とし，一回り大きめの鉢に赤玉土4，ピートモス4，パーライト2の混合土で植え変えてやります。深さは球根の肩が出るくらいにします。

ウメ（鉢植え）の花後管理

正月に楽しむために室内で管理していたウメは，花も終わり新しい枝が伸びだします。花が終わって伸びだしたものは５～６芽残して切りつめ，１０℃～１３℃くらいの寒い場所で鉢土がしめっている程度の水やりで管理し，春４月下旬頃植え替え時に，２～３芽の外芽の切りつめと，不要枝の剪定をおこなうようにします。



アザレアの花後管理

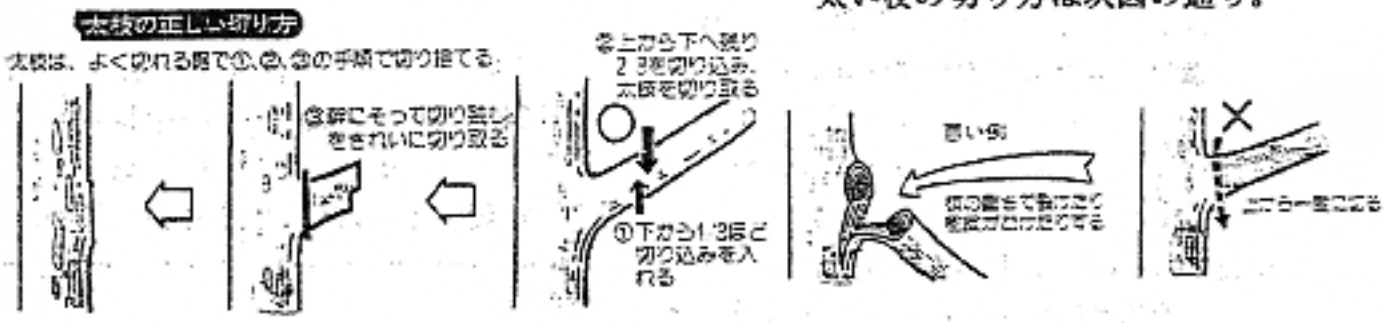
秋購入しそのままの状態で花を咲かせたものは，花の終わった枝先から３～４本の新しい枝が伸びだします。伸びだした枝のうち一番元気のよい枝は，枝のつけ根から切り取り，残りの枝は伸びた枝の１／３くらい残した外芽の芽の上から切りつめておき，春植え替えの時に根の整理と同時に切りつめ，不要枝の剪定〔整枝（姿）剪定〕をおこないます。

庭木類の剪定

イチイの剪定

枝抜き剪定（間引き剪定）は３月下旬～４月上旬の堅雪の時期にこの種の強剪定をおこない，成育期に入ってから６月下旬までの間は切りつめ剪定をおこなうようにします。

太い枝の切り方は次図の通り。



カエデ類の剪定

落葉広葉樹類の剪定時期は秋休眠期にはいってからになりますが，カエデ類の場合は完全に休眠期に入り，冬芽がおちついてから剪定をおこなうか，夏の成育の一時休止期におこないます。この二つの時期をはずして他の時期（樹液の流動期～成育期）に剪定をおこなうと，樹液が止まらなくなり，樹木が極端に弱ったり，枯れたりすることがあります。

カエデ類の中でもノムラカエデは剪定のむずかしい部類に入りますので，剪定の方法（出来るだけ強剪定はさける），剪定の時期には注意をはらうことが大切です。